

「民間感覚を行政に」 の思いとは

お客さま目線を意識した 町政を進める



尾形英明 議員
(新 生 会)

問 「民間感覚を行政に」の思いとは、どのような思いなのか具体的に説明を。

佐藤町長 初当選の時から「民間感覚を行政に」を掲げて、町政の運営を進めてきた。民間感覚の基本は、常にお客さまである町民の皆さまのニーズや動向を敏感に察知し、素早い対応に努めることであり、私のみならず職員一人一人がお客さま目線を意識し働くことであると思う。



所信表明で「民間感覚」について述べる町長

ここが聞きたい！ 一般質問（質問者10人） 町の考えは!?

公約だけが仕事ではないと思うが

他の課題にも継続して取り組む

問 今回の出馬で山田町総合計画をベースに7項目の公約（※）を掲げたが、町長公約だけが仕事ではないと思う。公約以外の取り組みは。

あるものについてはそれぞれ解決していかねればならない。公約以外の施策についても、本年の施政方針で述べた町政の基本方針に沿って継続して取り組むし、新たに発生する課題、問題についても公約の実現とともに取り組んでいく。

町長 所信表明は、今後4年間の任期に向け町長としての町政運営に対する考え方や方向性であり、公約以外でも課題の

あるものについてはそれぞれ解決していかねればならない。公約以外の施策についても、本年の施政方針で述べた町政の基本方針に沿って継続して取り組むし、新たに発生する課題、問題についても公約の実現とともに取り組んでいく。

※7項目の公約

- 災害公営住宅への引っ越しの完遂
- 復興工事の完遂
- 住宅再建への支援
- 新斎場の新築移転
- 産業振興の支援
- 医療福祉の向上
- 学校給食センターの建設